

◆日本共産党の見解を紹介します。

http://toride.jcpweb.net

メール jcp.toride@blue.ocn.ne.jp

◆ご意見、ご要望をお寄せください。

明るい取手

2013年3月17日(日)

発行:日本共産党取手市委員会

取手市井野3-19-6 TEL.72-7816

生活のお困りごとなどお気軽にご相談を

- 高木晶市委員長/TEL:74-2004
- 加増みつ子市議/TEL:74-8154
- 遠山ちえ子市議/TEL:83-8290
- 鈴木きよし市議/TEL:74-8160
- 関戸 勇市議/TEL:78-0500

日本共産党の
アピール

注目!
反響!

働くみなさんへのアピール 賃上げと安定した雇用の拡大で、 暮らしと経済を立て直そう。

日本共産党は、働く人の所得を増やすという大きな一致点で、労働組合やナショナルセンターの違いも、政治的立場の違いものりこえ、幅広い国民各層のなかで、対話と共同をすすめることをよびかけるとともに、その先頭にたって奮闘します。

- 世界でも異常な賃下げと雇用不安
——賃上げと雇用の安定は切実で当然の要求です
- 働く人の所得を増やして、デフレ不況打開へ
- 政府が賃上げ目標をもち、それを実現する政策を実行する
——「企業まかせ」でなく、政治の責任を果たすときです

全文をお読みください
日本共産党のホームページ
「日本共産党」で検索
日本共産党取手市委員会へ
電話 0297-72-7816

政府を動かす——日本共産党の国会質問



「内部留保のほんの一部を使えば、賃上げは可能だ」。日本共産党の笠井亮議員は2月8日の衆院予算委員会で基本的質疑に立ち、「企業の収益が上がれば賃金もやがて上がる」という「アベノミクス」の論拠を突き崩して、働く人の所得を増やすことこそ必要だと強調しました。

安倍晋三総理
「企業に収益増を賃金に回すよう要請する」

麻生太郎副総理・財務相
「(賃上げ)条件が企業側にある」と答弁



取手市議会開催中

2月28日から始まった3月定例取手市議会。平成25年度予算案等が審議されています。14日、15日、18日は予算審査特別委員会。3月22日が議会最終日の予定です。

TPP 安倍総理は国民をだましている

「後から参加する国は異議さえ許されない」



安倍総理が交渉参加に突き進む唯一のよりどころが「聖域なき関税撤廃が前提でないことが明確になった」という日米首脳会談です。

しかし、同会談で発表された共同声明は「すべての物品が交渉参加の対象」であり、関税・非関税障壁の撤廃を原則とする「TPPのアウトライン」を「確認する」と宣言したものです。

さらに、TPP交渉に後から参加する国が極めて不利・不当な条件をのませられる重大な問題があります。

その条件とは、

(1) 先行交渉9カ国が合意した条文はすべて

受け入れ、9カ国が合意しない限り、再協議は行わない。

(2) これから決めることについても、9カ国(シンガポール、ブルネイ、チリ、ニュージーランド、オーストラリア、ペルー、アメリカ、ベトナム、マレーシア)が合意した場合、拒否権を有さず、その合意に従う。

(3) 交渉を打ち切る権利は9カ国にあり、遅れて交渉入りした国には認められない—というもの。

カナダとメキシコはこれらの条件を「念書」で承諾し、昨年6月、交渉参加を認められました。

米国の担当官は、後から参加するカナダ、メキシコと同様に「日本も口出す余地はなく、サインしてもらっただけだ」と言っています。(東京大学大学院教授、農業学博士 鈴木宣弘さん)



取手市役所構内の河津桜(2013.3.14撮影)

しんぶん 赤旗

日刊 ●月3,400円

日曜版 ●月800円

一人で悩まずに お電話を

生活相談・労働相談/弁護士無料法律相談
TEL.72-7816

「ウェルネスプラザ」 実施設計業務委託先決める

「ウェルネスプラザ」実施設計業務委託は、疑問の多い「公募型プロポーザル方式」で実施。昨年11月12日に公告し、12月14日まで事業への参加を受付。8組（16社）の設計企業体から寄せられた事業提案書を審査。審査委員会は、1月25日最適業者（業務委託契約予定者）に「山下・根本設計共同企業体」を決定し、1月30日に委託費87,675,000円で契約しました。

公募開始してから、あわてて
今回採用した「公募型プロポーザル方式」での委託業務を決定する常設型の要綱は取手市になく、審査委員会も急きょ1月1日に設置した。

契約までの経緯

- ▼平成24年11月12日
公募型プロポーザルで公告
- ▼平成24年11月26日
質問への回答
- ▼平成25年1月1日
公募型プロポーザル審査委員会設置
- ▼平成25年1月15日
第1回審査委員会
- ▼平成25年1月16日
第2回審査委員会
最適業者と次席業者を決定
- ▼平成25年1月23日
第3回審査委員会
第2回審査委員会の最適業者、次席業者決定の妥当性を確認
- ▼平成25年1月25日
最適業者決定を公表
- ▼平成25年1月30日
「山下・根本設計共同企業体」と契約

**最適業者選定の
審査委員は
副市長と市職員**

**随意契約で最適
業者に業務委託**



どうしてなの？

駅前開発事業の取手市の
事業者選定、入札、契約…、
なぜ「談合・疑惑、だらけ
なの…



***「公募型プロポーザル方式」とは、**
事業者から技術提案書提出を受け、庁内に設置された審査委員会（委員長は副市長、その他委員は担当部課長ら、取手市部長で構成）で最適業者を選定し、委託契約を行う制度。一般競争入札とは異なり、発注者（取手市）の意向が強く左右するなかで事業者選定が決められる。この「方式」は、公正性・透明性及び競争性の向上を旨とする公共事業の在り方から見て極めて疑問のあるやり方です。市民からも「おかしい」の声がでています。

白山8丁目交差点改良

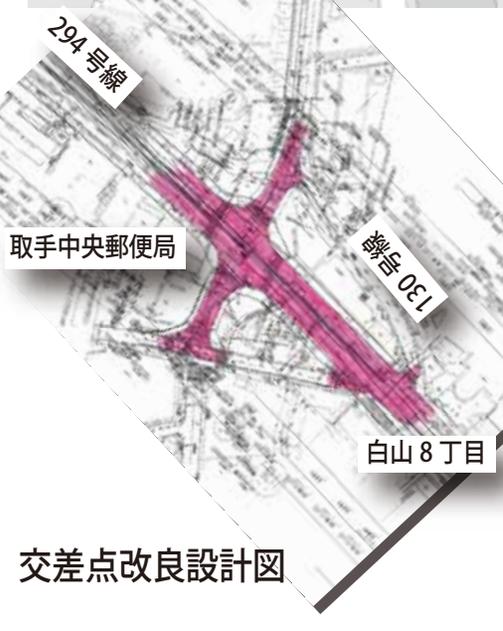


地図はGoogleから

現在、白山8丁目の交差点の改良工事が進められています。改良工事は294号線と直角の十字交差にするものです。進捗状況について県竜ヶ崎工事事務所に聞いてみました。上図の点線部の294号線より北側は平成25年3月末、南側は4月末に完了予定。

交差点の箇所は、用地買収が残っており、工事予定は未定とのことでした。

交差点改良工事の当初の完了予定は26年度末です。



交差点改良設計図

取手駅西口前 区画整理事業 総事業費176億円

平成25年度市予算
ビル1棟の移転補償費（解体費、
再建築費等）に約7億円



地図はGoogleから

平成25年度市予算として、駅前正面を区域とするA街区内のビル（上図・山一ビル）部の区画整理予算約7億円が計上されています。この予算は、移転補償費（ビル解体費、ビル再築費、営業補償費…等）です。これから、地権者、店子等の関係者と協議し合意を得て進められます。

取手駅西口開発・区画整理事業は、平成5年に開始してから約20年が経過。進捗率は予算ベースで約60%です。来年度には見直され、さらに5年間延長される見通し。いつ終わるのが、先が見えない事業です…。